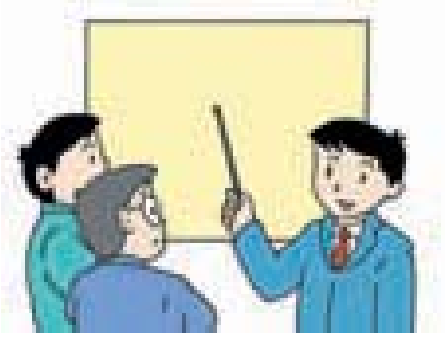
えー！退職手当が教授なら500万円以上減るの？

総務省は，国家公務員の退職手当を2013年1月1日から1年半で，17%も引き下げようとしており，法案が通れば大学教職員にも適用されることは確実です。削減案では，来年3月に定年退職するとすれば，現行より職員では約130万円，教授なら約190万円も減額となります。連年の賃下げで生活悪化が進み、退職手当が住宅ローン返済を含めた退職後の生活を支える重要な労賃収入になっているにもかかわらず、段階的に退職金を削減し、1年半後には一人平均402万円を圧縮しようというのです。これでは生活設計の変更を余儀なくされるばかりか、若年層から働きがいを奪うものであり、到底認めることができません。

退職手当について学びましょう



日時：11月15日（木）　18時～20時

場所：人文・社会科学総合教育研究棟
5階W518

どなたでも参加できます。

北海道大学教職員組合

内線電話：3994，2083　メール：kumiai@ma4.seikyou.ne.jp　ホームページ：http://ha4.seikyou.ne.jp/home/kumiai/